

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Baby&Beans		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人の母体である幼稚園との連携、交流がある。 母集団での様子と療育での様子を保護者へ伝えることができる。	園庭に遊びに行ったり、お誕生会(行事)など行事に参加することができインクルーシブが実現できている。 運動会やお遊戯会など、協力体制がとれる。	幼稚園担任へ支援計画や面談内容などを伝えながら情報共有ができる環境ではあるが、実施できる会議の時間を増やしていく必要がある。
2	職員間や保護者とのコミュニケーションが取れている。	支援終了後には必ずフィードバックを行い気づいたことなどを共有している。 日頃から、子どもの状況や課題について話し合いができていく。	小規模事業所でもあり、職員間の共有は取れているが、今後は小さな気づきも記録として残していく必要がある。
3	利用定員や、子どもの状態に合わせた課題を取り入れられている。	個々に合わせた環境づくりが迅速に対応でき、小集団や個別療育での課題設定に反映できている。 専門職も交えながらプログラムを計画している。	継続して職員間のコミュニケーションを取りながら、個々の課題に沿ったプログラムを計画していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が参加できる勉強会や、保護者会など交流する場がない。	アンケート結果からも母集団があるため、保護者会を必要とする方もいれば、求めている方もいる。 小規模の事業所で人員も少なく、保護者会を取り入れる時間的、人力的対応が難しい。	保護者会でなくとも、保護者に向けた勉強会等が開催できるよう調整していく。
2	限られた人員であるため一人一人の抱えている仕事量が多い。	児童発達支援として実施しなければならない事項が年々多くなっている。書類作成等、含めて限られた人員で対応していくことが難しい。	事業所として行わなければならない事項を、全職員が把握し、誰もが対応できるよう整理していく必要がある。
3	突然のお休みなど、大人の数が増えることもあり、大人との距離が近すぎてしまうことがある。	人員配置の調整。 職員の関わり方の見直し、意識の改善。	引き続き、療育に入る職員数の調整ができる環境づくりを行っていくほか、子どもとの関わり方について、振り返りの時間をういながら職員の意識を見直ししていく必要がある。